

風
間
浦
村
教
育
大
綱

令和4年11月
風間浦村



教育大綱の改定にあたって

風間浦村では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、風間浦村の教育・学術・文化振興に関する「基本理念」と「基本方針」を示した「風間浦村教育大綱」を平成27年7月に策定しました。

策定にあたり最も重要視したことは、地域社会を担い、次の世代をリードする人材を育成すること、つまり「人づくり」です。

教育大綱で掲げてきた「学ぶことを通し、郷土に誇りと愛着を持って未来を切り拓き、心豊かで夢や希望を抱いてたくましく生きる人づくり」という基本理念や、それを基盤とした基本方針、及び風間浦村教育施策の方針は、今もなお、大切なものがあります。

しかし、策定からこの間、本村は社会状況の変化にともない、人口の減少と少子高齢化が進み、児童生徒数が減少しました。また、村内の3小学校の統合による風間浦小学校の開校、小学校と中学校における新学習指導要領の全面实施、GIGAスクール構想によるICTの急速な進展など、本村の教育を取り巻く環境は大きく変化しました。

そこで、この度、教育大綱の期間を概ね5年とする国からの通知を踏まえ、策定から7年間経過している教育大綱の改定に取り組むことにしました。

私たちは、社会の在り方が劇的に変わるSociety5.0の到来をはじめ、先行き不透明で将来の予測が困難な時代を迎えています。すべての人々が、豊かな人生を生き抜く力を身に付けていくことの重要性がこれまで以上に高まっています。望む未来を私たち自身で示し、私たち自身で作り上げていくことが求められています。

その一方で、時代を超えても変わらない価値を引き継いでいくことも重要であり、教育の果たす役割の大きさを改めて実感しているところです。

そのような考えのもと、今回の教育大綱の改定にあたっては、普遍的な目標を示すこれまでの教育大綱の「基本理念・基本方針」を継承するとともに、風間浦村教育施策の方針も継続することにしました。

また、社会状況や教育をめぐる環境の変化を踏まえ、「人づくり」の観点から風間浦村の教育の新たな柱を構築するとともに、構成を抜本的に見直し、時代の変化に柔軟に対応できるものとなりました。

教育大綱の改定を受け、村民一人一人が郷土の歴史と風土を受け継ぎ、生涯にわたって学び続けることを応援し、充実した人生の実現につなげてまいります。

